



会期 : 2017.04.11-2017.06.03
 開室時間: 水・木・金曜日
 土曜日

【同時開催中】
 図書館棟二階
 美術工芸研究所ギャラリー
精選 金美の美
 ～美大所蔵の名品たち～

10:00-17:00
 10:00-15:00

駅前、公園、ホールのロビーなど、わたしたちの周りには多くの彫刻作品が展示されています。中でも、目につくのが裸婦像でしょう。また、美術館にも彫刻・絵画共に多くの裸婦像が展示されており、日頃から多くの鑑賞を集めています。それは、実に日常的な光景であり、それを不思議に思う人はいないのではないのでしょうか。

芸術の世界において、裸婦は至極一般的なモチーフのひとつです。しかし、ふと考えてみると多くの人が行き来する往来に、裸の女の人の像がたまたまで見えます。芸術における裸婦像は単なる「ハダカ」ではなく、「ヌード」として許容されている表現であると言えます。

特に裸体表現に女性像が多いというのは、何かそこに理由や魅力があるのではないのでしょうか。

今回は大学所蔵のさまざまな分野の裸婦像を集めることで、裸体の意味とモチーフとしての魅力について考えていきたいと思っています。

The beauty of women's nude.



富田温一郎「手鏡の裸婦」
 大正13年（1924）
 金沢美術工芸大学蔵

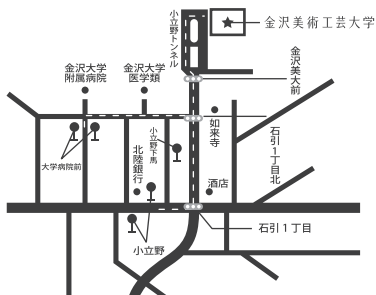
によ
 たいの
 美しさ
 女体はなぜ絵になるのか？

金沢美術工芸大学
 美術工芸研究所

KANAZAWA COLLEGE OF ART
 Research Institute of Art and Design

石川県金沢市小立野5丁目11番1号 076-262-3519

*大学には駐車場がございません。お越しの際は公共交通機関とご利用ください。



- 【展示作品】
- 洋画家の裸婦
 - 東典男「膝をつく裸婦」 一九九四年
 - 富田温一郎「手鏡の裸婦」 一九二四年
 - 鴨居玲「裸婦」 一九七九年
 - 宮本三郎「椅子に寄る女」 制作年不明
 - 日本画家の裸婦
 - 加山又造「裸婦」 制作年不明
 - 鳥海青児「裸婦」 制作年不明
 - 百々俊雅「楽しい刻」 二〇〇二年
 - 広田多津「婦人像（画稿）」 制作年不明
 - 広田多津「婦人像（小下絵）」 制作年不明
 - 彫刻家の裸婦
 - 柳原義達「裸婦」 一九八六年
 - 柳原義達「人物」 一九九一年
 - 高田博厚「カテドラル」 一九三七年
 - 松田尚之「羽衣」 一九六八年
 - 藤森兼明の素描
 - 藤森兼明「座す女」 制作年不明
 - 藤森兼明「裸婦」 制作年不明
- ほか